

2025年5月15日
イオンリテール株式会社

複数のシステム操作を1つのデバイスに集約 約390店舗で「オールインワンデバイス」を実装 従業員が快適に、より一層活躍できる“万能端末”

イオンリテールは2025年5月29日（木）より順次、従業員が店舗で利用する新端末「オールインワンデバイス」を約390店舗^{※1}で実装します。



当社は2021年に実装した「AIカカク」や2022年の「AIワーク」「MaIボード」など、さまざまなシステムを新たに企画・開発し、店舗での体験価値や生産性を高めてまいりました。

このたび実装するのは、これまで複数の端末を使用していたシステムを1つの端末で操作でき、さらに、高性能スキャン機能を備えた「オールインワンデバイス」です。

AIカカクのように経験や勤に頼らないシステムを導入してきたことにより、多くの従業員が複数のシステムを駆使して業務改善ができるようになっており、今回の新端末によりさらなるサービス価値や生産性の向上を見込んでいます。

また、新端末は「文字スキャン」「一括スキャン」といった高性能スキャン機能を有しており、食品の期限チェックやスキャンチェックといった固定業務を大幅に削減します。

【「オールインワンデバイス」の概要】

スケジュール：2025年5月29日（木）より順次実装

展開店舗：「イオン」「イオンスタイル」など 約390店舗^{※1}

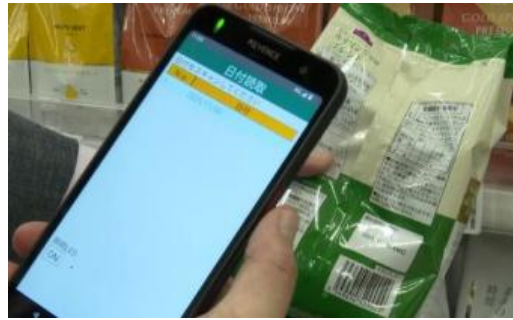
内包システム：「AIカカク」「AIオーダー」「AIワーク」「MaIボード」
「商品位置検索システム」「AIアシスタント」など

※1：関東・北陸信越・東海・近畿・中四国の店舗。

【「オールインワンデバイス」スキャン機能の特長について】

① 文字スキャン（OCRスキャン）※2

商品の賞味期限を読み込み、登録が可能です。登録後は、最も賞味期限に近い商品の販売期限が近づくと、担当部署のアカウントでログインした際に端末に通知が表示されます。何度も同じ商品をチェックする手間が省ける上、正確に販売期限の近づいた商品を確認できます。



② 一括スキャン

カメラに映る複数のバーコードを一括で読み取りリスト化が可能です。一例として、チラシ掲載商品の在庫数量の確認や価格を切り替える商品のリストアップなど、これまで1つひとつスキャンしていた作業を一括で行えるようになり、作業時間は10分の1以下に削減しています。



③ 長距離スキャン

従来の光反射を利用したスキャン機では届かない位置にあるバーコードも読み取りが可能。これにより、高所や平台の奥にある価格表示に記載されているバーコードを、手を伸ばさずにスキャンすることができます。



【ケースデザインについて】

当社では従業員が愛着を持ってデバイスを活用できるよう、カバーデザインを複数色用意します。ベーシックな色合いだけでなく、令和以降の新しい働き方をイメージした“かわいく”“ポップな”色合いも用意しています。



※2：OCRとは、Optical Character Recognition（光学的文字認識）の略で、物理的な表示物から文字を抽出・認識しデータに変換する技術。主に伝票処理に使用される。

国内初の「One to One」アプリ※³ 25年6月、「従業員アプリ」始動 業務支援を網羅、勤務中の“頼れる相棒”に

イオンリテールは2025年6月、従業員1人ひとりの業務内容に応じて適切に支援を行う国内初※³のアプリ「従業員アプリ」の実証運用を開始します。



「従業員アプリ」の特長

- 操作性と表示の最適化（シンプル）**
 あらゆるシステムを1つのアプリに統合し、1回のログインで複数システムを横断的に利用が可能に（シングルサインオン）。また、業務内容に応じて必要な情報を優先的に表示することで1画面の情報量を抑え、迷うことなく必要なシステムにアクセスすることができます。
- 業務支援システムを網羅（スマート）**
 AIによる業務支援システム等を網羅し、あらゆる業務に手を添えます。さらに、今年6月に新たに実装する「AIアシスタント」により、これまでPCやマニュアル上で確認していた情報も音声入力のみで簡単に引き出すことができます。
- 1人ひとりにパーソナライズすることで生まれる可能性（ポテンシャル）**
 アプリ自体をパーソナライズすることで個人ごとの業務指示から業務遂行支援、完了連絡までをシームレスに行えます。今後、職場全体の業務を定量化し、作業分担をより円滑に進めることで職場の生産性を最大化していくビジョンを構想しています。

※3：1人1台の端末利用を前提とし、ワークスケジュールの提示からあらゆる業務遂行支援、完了連絡まで、勤務時の情報のやり取り全てをカバーするアプリが国内初。

【概要】

名 称：「従業員アプリ」

ア イ コ ン：右図を参照

スケジュール：2025年6月より実証運用を開始

展 開 計 画：全従業員（10万人超）へ順次、展開予定

システム形態：各事業所で管理する端末に各自ログインして利用



従業員アプリ

【従業員アプリ 実現の理由】

当社はこれまでに、「レジゴー」や「AIオーダー」といった、小売業ならではの課題を解決するシステムを開発し、「生産性」と「お客さま満足」の両方を高めるイノベーションを続けてまいりました。

従業員アプリは、これらのシステム開発ノウハウを結集した集大成となります。

一人ひとりのシフトや時間帯ごとのワークスケジュールを提示する「AIワーク」を柱に、あらゆる業務支援や教育などのシステムを一つのアプリに統合しています。

「レジゴー」の開発時に培った“シンプル”で“操作性の高い”画面表示にこだわったほか、膨大な情報から適切な内容を音声質問のみで引き出すことができる「AIアシスタント」の実装により、表示する情報の煩雑化を解消し、スマートな使い心地を実現しています。

これらの工夫は、システム開発が決して先行することなく、利用者である従業員のニーズを一つひとつ紐解きながら“利用者目線”で開発したことから生まれたものです。

当社はこれまでに企画・開発したシステムを資産と位置づけ、全てを有効活用しながら従業員の働きがいと生産性を高め、人を接点とした、あたたかみある買物体験を生み出しています。

【イオンリテールが目指す働き方改革のイメージ】

**従業員が快適に、より一層活躍できるシステムを開発し、
人を接点とした、あたたかみある買物体験を生み出す。**



ご参考

【「商品位置検索システム」の実装について】

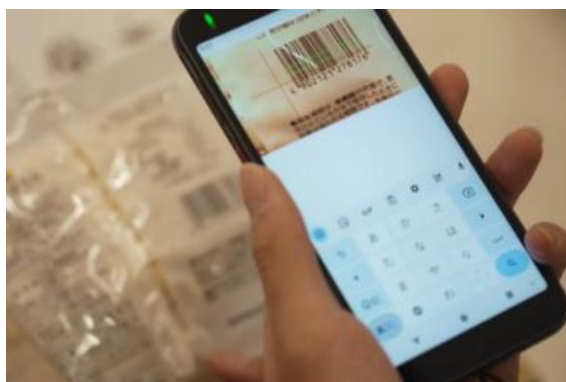
従業員アプリには、今年新たに開発した、商品補充に関する負を解消する「商品位置検索システム」を実装します。本システムは、補充する商品のバーコードを読み取ると、商品棚の位置が表示される仕組みで、初めて作業に入る従業員も簡単に補充先の場所を見つけることができます。

経験や知識による差を軽減し、誰もが成果と働きがいを感じられる職場環境の実現に向け、今後もさまざまなシステムの開発と改良を続けてまいります。

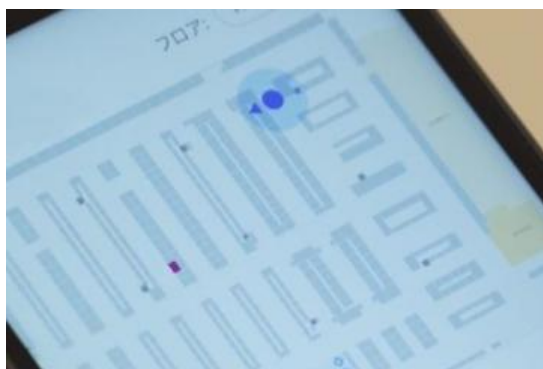
<「商品位置検索システム」を使った補充作業のイメージ>



▲補充する商品を運び出す



▲補充する商品のバーコードを読み取る



▲商品棚の位置を確認する
(マゼンタ色:商品棚位置、青色:現在位置)

